



2013年8月7日

2013年12月期 中間決算概況

会社名 サントリーホールディングス株式会社
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)佐治 信忠
問合せ先責任者 (役職名)広報部長 (氏名)濱岡 智

URL <http://www.suntory.co.jp>

広報部 TEL (03)5579-1150
TEL (06)6346-0835

(百万円未満切捨て)

1. 2013年6月中間期の連結業績(2013年1月1日～2013年6月30日)

(1)連結経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
2013年6月中間期	939,753 8.0	48,728 28.1	46,271 26.7
2012年6月中間期	870,082 4.4	38,028 △ 25.0	36,509 △ 24.6

	中間純利益	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	百万円 %	円 銭	円 銭
2013年6月中間期	29,556 131.6	43 32	—
2012年6月中間期	12,763 △ 62.0	18 74	18 73

(参考) 持分法投資損益 2013年6月中間期 △4百万円 2012年6月中間期 222百万円 2012年12月期 553百万円

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2013年6月中間期	1,997,557	627,858	28.7
2012年12月期	1,727,963	533,697	29.4

(参考) 自己資本 2013年6月中間期 573,052百万円 2012年12月期 507,797百万円

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2013年6月中間期	50,929	△ 51,924	64,156	294,859
2012年6月中間期	34,214	△ 33,896	△ 64,007	224,937

2. 配当の状況

	1株当たり配当金		
(基準日)	中間期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭
2012年12月期	—	11 00	11 00

3. 2013年12月期の連結業績予想(2013年1月1日～2013年12月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通期	2,020,000 9.1	126,000 16.9	122,000 18.4	199,000 443.2	291 69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

事業系統図

サントリーグループは、当社、子会社182社および関連会社33社より構成されています。主要な会社は次のとおりです。

※ 寿不動産(株)

サントリーホールディングス(株)(持株会社)

グループ全体の経営戦略の策定・推進、管理



→ 製品・商品の販売
 - - - - - サービスの提供

- (注) 1. サントリービジネスエキスパート(株)は、機能会社として関係会社に間接業務サービスを提供しています。
 2. ※は親会社です。
 3. 無印は連結子会社です。

経営成績

1. 当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間(2013年1月1日～2013年6月30日)の世界経済は、欧州債務問題等による景気の下振れリスクの懸念があるものの、緩やかな回復傾向が継続し、底堅さも見られました。わが国経済においても、円安・株高が進行し、企業収益の改善や個人消費の持ち直しが見られるなど、今後の景気回復に向けた期待が高まりつつあります。

こうした中、サントリーグループは、「ザ・プレミアム・モルツ」「金麦」「山崎」「白州」「角瓶」「伊右衛門」「サントリー天然水」といった主要ブランドのマーケティング活動の強化や、新たなカテゴリーの創出など、積極的な取り組みを展開しました。その結果、当期の業績は、売上高9,398億円(前年同期比108.0%)、営業利益487億円(同128.1%)、経常利益463億円(同126.7%)、中間純利益296億円(同231.6%)となりました。

〈飲料・食品セグメント〉

サントリー食品インターナショナル(株)は、収益性向上に向けた施策を進めました。

国内事業では、重点ブランドの強化を軸に、新商品の発売や、ブランド横断型の消費者キャンペーンによる小容量商品の販売活動強化等、需要の拡大を図りました。

「BOSS」は、主力商品を中心にマーケティング活動を強化し、前年割れと推定される缶コーヒー市場の中で前年同期並の販売数量となりました。「伊右衛門」ブランドは、「伊右衛門」「贅沢冷茶」の2本柱が好調で、販売数量が大幅に伸長しました。「サントリー天然水」は、植物由来原料を30%使用した国産最軽量※¹(11.3g)ペットボトルを採用※²したりリニューアルでブランド力を強化し、店頭での販売促進を図った結果、販売数量を大きく伸ばしました。

※¹ 国産ミネラルウォーターペットボトル(500ml～600ml)対象 2013年8月7日現在

※² 自動販売機対応商品を除く550ml 商品

国際事業では、欧州、オセアニア、アジア、米州において、競合がいつそう激化する等厳しい環境の中、各エリアでの重点ブランドの強化等に取り組めました。

欧州では、厳しい経済環境と天候不順が続く中、オレンジナ・シュウェップス・グループが、重点ブランドの育成・強化のためのマーケティング活動に取り組めました。

オセアニアでは、フルコア・グループが、重点ブランドであるエナジードリンク「V」の販売促進の強化に取り組めました。またニュージーランドの「PEPSI」ブランドが引き続き好調に推移するなど、フルコア・グループ全体で販売数量を伸ばしました。

アジアでは、健康食品・加工食品を製造・販売するセレボス・グループが、タイの健康食品販売を中心に堅調に推移しました。サントリーガルーダ・グループでは、「Okky」等が伸長したほか、サントリーブランドの緑茶飲料「みらい」も売上増に寄与しました。また、ベトナムにおいては、PepsiCo, Inc.との合併会社が4月に飲料事業を開始しました。

以上の結果、飲料・食品セグメントの売上高は、5,149億円(前年同期比111.0%)となりました。

〈ビール・スピリッツセグメント〉

サントリー酒類(株)は、主要ブランドのマーケティング活動の強化に加え、“RTS^{※3}”など新価値商品の投入や新たな飲用スタイルの提案等を行いました。

※3 RTS(Ready To Serve): 氷を入れた状態で飲むのに最適な味のバランスに仕上げたスピリッツやリキュール。

ビール事業は、3,224万ケース^{※4}(前年同期比102.4%)と過去最高の販売数量を達成しました。また、当社ビール類のシェアも、15.1%(課税数量ベース)で過去最高となりました。「ザ・プレミアム・モルツ」は、ブランド力の向上とお客様との接点拡大を図り活動を強化した結果、737万ケース(前年同期比102.9%)となりました。新ジャンルでは、「金麦」が1,285万ケース(前年同期比105.4%)と伸長したほか、「金麦〈糖質70%^{※5}オフ〉」が271万ケース(同169.6%)と、極めて好調に推移しました。そのほか、ノンアルコールビールテイスト飲料No.1ブランド^{※6}「オールフリー」も、297万ケース(前年同期比110.2%)と大幅に伸長しました。

※4 大瓶換算(1ケース=633ml×20本)・ノンアルコールビールテイスト飲料含む

※5 当社「金麦」比

※6 インテージMAI調べ ノンアルコールビールテイスト飲料ブランド 累計販売金額

2012年1月～12月(全国スーパーマーケット/CVS/酒DS/一般・業務用酒店計)

スピリッツ事業は、積極的に価値提案を行った結果、前年同期比101%の売上となりました。

ウイスキーの販売数量は、主要ブランドが好調に推移した一方で、輸入ウイスキーの取り扱いブランドを一部変更したことにより、前年同期並となりました。「角瓶」は、食との相性訴求活動を強化し前年同期比102%と伸長したほか、5月に「プレミアム角瓶」を発売し、新たな需要を喚起しました。プレミアムウイスキーは、昨年発売した「山崎」「白州」や4月にリニューアルした「響12年」等が好調で、前年同期比121%と大きく伸長しました。1月に発売した「ジムビーム」は、新たなユーザーを獲得し、輸入ウイスキー市場の活性化に大きく寄与しました。また、国際コンペティションで「響21年」が3度目の「World's Best Blended Whisky」を受賞するなど、海外における当社ウイスキーに対する評価がさらに高まりました。

RTDの販売数量は、前年同期比108%と大きく伸長しました。「-196℃ ストロングゼロ」は4月に発売した〈DRY〉等が好調で、前年同期比125%と極めて好調に推移しました。「ほろよい」は、新商品の積極的な投入などにより、前年同期比109%と大きく伸長しました。また、当社ハイボール缶は前年同期比104%となり、市場を牽引しました。

さらに、お酒の新たな価値を提案するべく、新カテゴリー“RTS”を積極的に展開し、6月には主要ブランド「ふんわり鏡月 アセロラ」「カクテルツアーズ」の年間計画を上方修正するなど好調に推移しました。

海外事業は、欧米を中心に「響」「山崎」「白州」ブランドの積極的なマーケティング活動を展開するなど、当社ウイスキーのさらなる浸透に取り組んだほか、アジアを中心とした「ザ・プレミアム・モルツ」の販売を強化しました。また、シングルモルトウイスキー「ボウモア」をグローバルに展開するMorrison Bowmore Distillers Limited が売上を拡大しました。

以上の結果、ビール・スピリッツセグメントの売上高は、2,617億円(前年同期比102.2%)となりました。

〈その他セグメント〉

サントリー（中国）ホールディングス有限公司は、前年同期比138%の売上となりました。ビール事業では、新たに設立した中国のビール会社^{チンタオビーチュウゲーフェン}青島啤酒股份有限公司との合併会社が事業を開始したほか、飲料事業では主要ブランド「烏龍茶」が大きく伸長しました。

サントリーワインインターナショナル（株）のワイン事業の販売数量は、前年同期比107%と伸長しました。なかでも、国産ぶどう100%ワイン“日本ワイン”が前年同期比123%、「酸化防止剤無添加のおいしいワイン。」が同155%と大きく伸長しました。また「カルロ ロッシ」は、前年同期比106%と引き続き好調に推移しました。

サントリーウエルネス（株）は、「セサミン」シリーズや「グルコサミン&コンドロイチン」、スキン^{エフアージュ}ケア化粧品「F.A.G.E.」等が好調で前年同期比108%の売上となりました。

ハーゲンダッツジャパン（株）は、ミニカップの新商品が好調に推移したほか、6月に新発売したクランチークランチもご好評いただき、前年同期比104%の売上となりました。

外食事業は、前年同期を上回る売上となりました。なかでも、（株）プロントコーポレーションが前年同期比107%、井筒まい泉（株）が同106%と好調に推移しました。

以上の結果、その他セグメントの売上高は、1,632億円（前年同期比108.8%）となりました。

なお、国内売上高は7,046億円（前年同期比102.5%）、海外売上高は2,352億円（同128.8%）となりました。

当社は、創業以来、積極的に事業を展開するとともに、創業の精神である『利益三分主義』に基づき、文化・社会貢献、環境活動などにも取り組んでいます。また『水と生きる SUNTORY』というコーポレートメッセージのもと、社会と自然との共生を目指したさまざまな活動を展開しています。

東日本大震災の復興支援活動は、「漁業の復興支援」「未来を担う子どもたちの支援」「文化・スポーツを通じた支援」を柱に継続して実施しています。当期は、漁業支援のため15億円、子どもたちの支援のため10億円、合計で25億円を追加し、震災以降累計で88億円の拠出を決定しました。

環境活動では、サントリー「天然水の森」において科学的な知見を取り入れながらより質の高い水源涵養活動を展開したほか、生産工程での省エネルギー活動や環境に配慮した容器包装の取り組みを推進しました。

2. 通期の見通し

2013年12月期の売上高は、2兆200億円（前年同期比109.1%）、営業利益1,260億円（同116.9%）、経常利益1,220億円（同118.4%）を予定しています。当期純利益は、サントリー食品インターナショナル（株）の上場にとまなう特別利益の発生を踏まえ、2013年2月13日発表の業績予想を1,990億円（前年同期比543.2%）に修正しました。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2012年12月31日現在)	当中間連結会計期間 (2013年6月30日現在)	増 減
	金 額	金 額	金 額
(資 産 の 部)			
I 流 動 資 産	753,283	915,820	162,537
現金 及 び 預 金	228,128	294,895	66,766
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	265,659	295,548	29,888
た な 卸 資 産	183,728	218,051	34,323
そ の 他	76,709	108,387	31,678
貸 倒 引 当 金	△942	△1,061	△119
II 固 定 資 産	974,084	1,081,158	107,074
1. 有 形 固 定 資 産	420,228	476,425	56,197
建 物 及 び 構 築 物	129,909	141,558	11,648
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	118,533	145,197	26,664
工 具 、 器 具 及 び 備 品	61,021	63,396	2,374
土 地	85,964	90,372	4,407
そ の 他	24,798	35,901	11,102
2. 無 形 固 定 資 産	380,531	418,447	37,916
の れ ん	354,632	378,807	24,174
そ の 他	25,898	39,640	13,742
3. 投 資 そ の 他 の 資 産	173,325	186,285	12,960
投 資 有 価 証 券	97,083	108,397	11,314
そ の 他	78,615	80,128	1,512
貸 倒 引 当 金	△2,373	△2,239	133
III 繰 延 資 産	594	577	△17
資 産 合 計	1,727,963	1,997,557	269,594

(注)

有 形 固 定 資 産 に 対 す る 減 価 償 却 累 計 額	662,825	700,082	37,257
--------------------------------------	---------	---------	--------

(単位:百万円)

期 別 科 目	前連結会計年度 (2012年12月31日現在)	当中間連結会計期間 (2013年6月30日現在)	増 減
	金 額	金 額	金 額
(負 債 の 部)			
I 流 動 負 債	572,794	778,442	205,648
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	90,891	106,251	15,360
電 子 記 録 債 務	93,001	111,157	18,156
短 期 借 入 金	91,995	157,793	65,798
1 年 内 償 還 予 定 の 社 債	14,300	91,300	77,000
未 払 酒 税	44,546	44,245	△301
未 払 消 費 税 等	9,682	10,488	806
未 払 法 人 税 等	12,056	17,551	5,494
未 払 金	100,575	109,089	8,513
未 払 費 用	54,450	69,035	14,584
賞 与 引 当 金	9,891	9,971	80
そ の 他	51,403	51,557	154
II 固 定 負 債	621,470	591,256	△30,214
社 債	172,529	95,347	△77,181
長 期 借 入 金	318,021	340,524	22,502
退 職 給 付 引 当 金	11,151	10,922	△228
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	351	269	△81
そ の 他	119,417	144,192	24,775
負 債 合 計	1,194,265	1,369,698	175,433
(純 資 産 の 部)			
I 株 主 資 本	523,894	546,147	22,253
資 本 金	70,000	70,000	—
資 本 剰 余 金	△20,582	△20,582	—
利 益 剰 余 金	477,809	500,062	22,253
自 己 株 式	△3,332	△3,332	—
II その他の包括利益累計額	△16,096	26,905	43,001
そ の 他 有 価 証 券 金	10,350	16,896	6,546
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	1,902	1,615	△287
為 替 換 算 調 整 勘 定	△28,349	8,393	36,742
III 少 数 株 主 持 分	25,900	54,805	28,905
純 資 産 合 計	533,697	627,858	94,160
負 債 純 資 産 合 計	1,727,963	1,997,557	269,594

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

期 別 科 目	前中間連結会計期間 〔 自 2012年1月 1日 〕 〔 至 2012年6月30日 〕	当中間連結会計期間 〔 自 2013年1月 1日 〕 〔 至 2013年6月30日 〕	増 減
	金 額	金 額	金 額
I 売 上 高	870,082	939,753	69,671
II 売 上 原 価	432,651	463,891	31,239
売 上 総 利 益	437,431	475,862	38,431
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	399,402	427,134	27,731
営 業 利 益	38,028	48,728	10,699
IV 営 業 外 収 益	3,387	3,035	△352
受 取 利 息	490	427	△62
受 取 配 当 金	1,332	1,478	146
為 替 差 益	534	—	△534
補 助 金 収 入	—	369	369
雑 収 入	1,029	759	△270
V 営 業 外 費 用	4,906	5,491	585
支 払 利 息	4,221	4,137	△83
雑 支 出	685	1,354	669
経 常 利 益	36,509	46,271	9,761
VI 特 別 利 益	1,002	3,537	2,535
受 取 保 険 金	—	1,051	1,051
組 織 再 編 益	—	2,319	2,319
受 取 補 償 金	260	—	△260
そ の 他	741	167	△574
VII 特 別 損 失	4,315	4,919	604
固 定 資 産 廃 棄 損	1,933	1,601	△331
震 災 関 連 費 用	1,579	1,000	△579
組 織 再 編 関 連 費 用	342	2,010	1,667
そ の 他	459	307	△151
税 金 等 調 整 前 中 間 純 利 益	33,196	44,889	11,692
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	10,718	18,170	7,451
法 人 税 等 調 整 額	6,703	△6,894	△13,597
少 数 株 主 損 益 調 整 前 益	15,775	33,613	17,837
中 間 純 利 益	3,012	4,056	1,044
少 数 株 主 利 益			
中 間 純 利 益	12,763	29,556	16,793

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
		[自 2012年1月 1日 至 2012年6月30日]	[自 2013年1月 1日 至 2013年6月30日]
		金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前中間純利益		33,196	44,889
減価償却費		26,079	30,691
のれん償却額		10,486	11,887
受取利息及び受取配当金		△1,822	△1,906
支払利息		4,221	4,137
固定資産廃棄損		1,933	1,601
売上債権の増減額(△は増加)		△12,073	△13,079
たな卸資産の増減額(△は増加)		△22,776	△21,676
仕入債務の増減額(△は減少)		12,364	9,971
未払酒税及び未払消費税等の増減額(△は減少)		△2,392	△1,128
その他		7,997	8,127
小計		57,214	73,514
利息及び配当金の受取額		1,839	2,016
利息の支払額		△4,327	△3,683
法人税等の支払額		△20,512	△20,918
営業活動によるキャッシュ・フロー		34,214	50,929
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形及び無形固定資産の取得による支出		△33,344	△41,692
有形及び無形固定資産の売却による収入		321	243
投資有価証券の取得による支出		△1,072	△237
投資有価証券の売却及び償還による収入		154	164
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出		—	△13,914
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入		—	4,071
その他		44	△559
投資活動によるキャッシュ・フロー		△33,896	△51,924
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)		2,014	52,194
長期借入れによる収入		1,140	29,976
長期借入金の返済による支出		△24,843	△5,282
社債の償還による支出		△30,000	△950
リース債務の返済による支出		△1,293	△1,507
配当金の支払額		△8,174	△7,504
少数株主への配当金の支払額		△2,977	△2,770
その他		126	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー		△64,007	64,156
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		500	3,587
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△63,188	66,748
VI 現金及び現金同等物の期首残高		288,126	228,110
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高		224,937	294,859

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営陣が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社は持株会社制を導入し、持株会社である当社の下、製品・サービス別の事業分野別に事業会社等を設置しています。各事業会社等は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しています。

したがって、当社グループは事業会社等を中心とした製品・サービス別のセグメントから構成され、「飲料・食品事業」、「ビール・スピリッツ事業」の2つを報告セグメントとしています。

各報告セグメントと「その他」の区分に属する主な製品・サービスの種類は以下のとおりです。

飲料・食品……………清涼飲料、健康飲料、加工食品 他
 ビール・スピリッツ……………ビール類、ウイスキー、焼酎、RTD 他
 その他……………中国事業、ワイン、健康食品、アイスクリーム、外食、スポーツ、花 他

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2012年1月1日 至 2012年6月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	ビール・スピリッツ	その他	計	調整額(注)1	中間連結財務諸表計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	464,076	256,005	149,999	870,082	—	870,082
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,954	1,132	6,619	10,706	△ 10,706	—
計	467,030	257,138	156,618	880,788	△ 10,706	870,082
セグメント利益	30,510	9,388	12,897	52,797	△ 14,769	38,028

当中間連結会計期間(自 2013年1月1日 至 2013年6月30日)

(単位:百万円)

	飲料・食品	ビール・スピリッツ	その他	計	調整額(注)1	中間連結財務諸表計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	514,942	261,651	163,159	939,753	—	939,753
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,121	1,507	5,556	10,185	△ 10,185	—
計	518,064	263,159	168,715	949,938	△ 10,185	939,753
セグメント利益	36,519	13,381	13,735	63,636	△ 14,908	48,728

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、当社において発生するグループ管理費用です。それぞれの金額は次のとおりです。

前中間連結会計期間
 セグメント利益の調整額 △ 14,769 百万円
 各報告セグメントに配分していない全社費用 △ 14,808 百万円
 セグメント間取引消去 39 百万円

当中間連結会計期間
 セグメント利益の調整額 △ 14,908 百万円
 各報告セグメントに配分していない全社費用 △ 14,943 百万円
 セグメント間取引消去 35 百万円

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。